

日本共産党文京区議会議員

関川けさ子のレポート

文京区本郷 5-14-3-301
Tel.3817-8985 区議団控室5803-1317





2005年 都議選の年 30人学級の実現へ 子どもの医療費小学6年生まで無料化へ 頑張ります

避難所の小学校のトイレの耐震補強工事急いで 森川寿会館のお風呂は残して

昨年10月に新潟中越地震が起り、被災された方々は、大変な思いをされました。このことは、決して人事ではありません。東京は関東大震災からすでに80年が経過しており、いつ東京に大地震が起こってもおかしくありません。

日本共産党は、今回の震災の教訓をもとに、何点かにわたって代表質問で防災対策の強化を求めました。

第一に、文京区は他に先がけて、耐震診断、耐震補強工事を行ってきましたが、耐震補強工

事を予定している区有施設は、前倒しをしてとりくむこと。個人の家屋等の耐震診断や補強工事等への助成制度を抜本的に改善すること。

第二に、現在の水の確保状況で充分なのか、また、電気、ガスの問題はどうか。

第三に、お風呂やトイレの問題はより深刻になりかねません。寿会館は耐震補強をおこない継続させるとともに、お風呂の継続も不可欠です。災害用トイレの確保や、避難所となる小中学校のトイレが安全に使えるよう下水道の耐震化工事を急ぐべきです。

第四に、介護保険や支援費制度の今回のような災害時の対応

はどのようなになっているのか。第五に、区内の崖等危険な地域の再点検をいっせいに、問題箇所は改修を促進し、助成等も行うべきです。

日本共産党の奮闘で 区有施設の耐震補強工事すすむ

		執行額(千円)
C ラ ン ク	平成9年度 12棟	1,158,897千円
	平成10年度 8棟	883,990千円
	平成11年度 6棟	777,163千円
	小 計	2,820,050千円
B ラ ン ク	平成12年度 7棟	414,723千円
	平成13年度 4棟	815,945千円
	平成14年度 5棟	286,754千円
	平成15年度 4棟	626,795千円
	小 計	1,674,217千円
合 計		4,494,267千円

H18年実施予定、本郷保育園、耐震補強急いで

湯島総合体育館、耐震補強工事急いで



築37年の「湯島総合体育館」は、老朽化が進み雨漏りやボイラー・ろ過機の故障も多く、プール開放が中止になることも。地域の方々からなくなるのではないかと、心配の声がだされていましたが、体育館について耐震補強工事を行うことが、第3回定例会決算委員会の関川議員の質問で明らかになりました。

耐震補強工事の前に、今年の2月から3月にかけて、雨漏り改修、天井補修工事が行われることになりました。

2005年度に「水道橋駅」エレベーター設置へ

10月29日、関川区議会議員は、小竹ひろ子前都議とともに、都営三田線水道橋駅と春日駅に(柳町側)エスカレーターの設置を求めて、都の交通局と交渉しました。(写真上)

これに対し、都交通局側は、水道橋駅には平成17年3月までにエスカレーターの設置を行うと答えました。

本郷台中 水道水の赤サビ改善

日本共産党区議団は、夏に区内全中学校の施設調査を行いました。

関川区議は、地元の本郷台中学校を訪問し、水道水からの「赤サビ」で、飲料に適さないとの表示がされている実態に驚き、さっそく決算委員会のなかで取り上げ、「赤サビ」解決へと、道を開きました。



本郷台中の調査

旧伊勢屋質店保存のため 区の支援を



樋口一葉の108回目の命日にあたる昨年11月23日、本郷の法真寺で、「文京一葉忌」が盛大に行われ、一葉が新五千円札に登場したこともあり、多くの人で賑わいました。

一葉が生活に困った時にたびたび利用した旧伊勢屋質店も、持ち主の方のご好意と「文京の文化環境を生かす会」などの方々の努力により、特別に公開され、千人を超す全国からの人々が見学に訪れました。

区は、基本構想実施計画で、新五千円札に登場する樋口一葉を記念し、一葉の生活の場にある本郷四丁目児童遊園にお休み場所を設置すると発表しました。

これらの計画と結んで、旧伊勢屋質店の月一回程度の公開と、その保存のため、区としての支援を行っていくべきです。

韓国視察 韓国女性施策学ぶ

「ナムムの家」訪問(旧日本軍慰安婦の方々が暮らす)



韓国女性省前で

関川区議は、昨年の7月に民間のNPO主催の「韓国女性施策の視察研修」に参加しました。

をなくすことなどの問題で、多くの女性団体が密接に係わり、韓国女性政策の発展のためにがんばっている姿に、感心させられ、そのパワーに圧倒されました。

研修の最後に、太平洋戦争末期、旧日本軍によって性的犠牲を強いられた旧日本軍慰安婦の女性たちが暮らしている「ナムムの家」を訪問しました。

「近くて遠い国」韓国を訪問し、今まで国の民主化に力を注いでくることで精一杯だった韓国の女性たちが、いくつもの法の成立や改正を経て、DVの問題や、女性への差別

思いで

した。日本は今、憲法9条を改悪して、また、戦争への道に進もうとしています。二度と日本に同じ道を歩ませるはならない。お話しを聞いて決意を新たにして帰路につきました。



元「慰安婦」の方の手



元「慰安婦」の方々の水曜デモ